

建設業における化学物質の有害性に起因する災害事例
(2022年発生分 労働者死傷病報告より)

業種_中分類	職種	原因化学物質	特別規制、リスクアセスメント対象物質分類	傷病名	災害発生状況_原因
その他の建設業	仕上げ工	一酸化炭素	・特化物第3類 ・リスクアセスメント対象物質	一酸化炭素中毒	被災当日、8時30分より、環境設定確認後、9時15分より工場屋上（屋外）にて局排ファン軸受整備の為、解体作業を開始。午前中に吸引、配管、羽根、軸受部等の解体を実施し、昼休憩をとった。13時30分から現場危険予知を実施し、体調に問題がないことを確認。13時35分よりファンケーシング内部の付着物清掃を行っていた作業者と交替し、気を失った同作業員を助けようとして、同様に気持ちが悪くなった。救急車で運ばれた病院にて、一酸化炭素中毒と診断をうけ、入院した。4名被災
その他の建設業	築炉工	一酸化炭素	・特化物第3類 ・リスクアセスメント対象物質	一酸化炭素中毒	コークス炉変更弁室内の上部フロアで煉瓦積みをしている時にガス臭を感じたと同時にCO検知器が吹鳴した為、タラップから降りて屋外へ退避した際に気分が悪くなった。（原因）コークス炉のガスが漏れた為
建築工事業	解体工	一酸化炭素	・特化物第3類 ・リスクアセスメント対象物質	一酸化炭素中毒	解体工事現場に於いて、内装解体作業中、風呂場で電動はつり機により壁を解体していた時、窓を開け、発電機から2m程離れて、8時00分から作業を続け、壁下部のはつりをするため、しゃがんで作業を続けていたところ、午前11時30分頃、気分が悪くなり、手足の感覚に異常を感じたため、救急車で搬送された。
その他の建設業	更生管工	エポキシ樹脂	・リスクアセスメント対象物質 ・皮膚等障害化学物質	接触皮膚炎	下水道マンホール補修工事において、エポキシ樹脂剤を練り、別の作業員に渡していたが、作業中は問題なく作業していたが、後日手が赤く腫れ上がった。
建築工事業	防水工	エポキシ樹脂	・リスクアセスメント対象物質 ・皮膚等障害化学物質	薬傷	会社の置場にて、改修工事現場で使用する材料を準備中に、右足の甲に棚の容器からこぼれたエポキシ樹脂が付着していことに気付かず、痛みが出て確認したところ、薬傷であった。
その他の建設業	土工	水酸化カルシウム	・リスクアセスメント対象物質 ・皮膚等障害化学物質	両下肢損傷	被災者は（高さH=400）打設作業に従事していた。コンクリートポンプ車で圧送されたコンクリートをならすバイブレーターの線持ち作業を行っている最中に、テープで長靴とズボンを養生していたが、打設最中に剥がれ、長靴の中にコンクリートが流入したが、そのまま作業を継続した。打設完了後、長靴をカッターナイフで切って脱いで放置し、当日の22時に水をかける程度で洗った。その時コンクリートは落ちなかった。翌日は仕事がなく休日であった。翌々日になって足の痛みが耐えられず、救急車を呼んで病院に搬送された。長靴にコンクリートが流入して放置したことが原因と思われる。診断結果は確認中。
土木工事業	土木作業員	水酸化カルシウム	・リスクアセスメント対象物質 ・皮膚等障害化学物質	薬傷	自由勾配側溝の中で、ヤッケを着たまま両膝をついて、底板コンクリートをならしていたら、乾いていないコンクリートで両下肢をやけどした。
建築工事業	塗装工	有機溶剤	・リスクアセスメント対象物質	薬傷	①自宅②作業終了後にシンナーを含んだウエスをズボンのポケットに入れた③シンナーを含んだウエス④シンナー使用後のウエスを適切に処理しなかった⑤塗装汚れをシンナーで除去作業終了後にシンナーを含んだウエスをズボンのポケットに入れて帰社した。同日夜に左足太股に痛みを感じた。翌日は日曜日のため、自前の軟膏を塗った。出社時に痛みを訴えて発覚。
建築工事業	現場管理	有機溶剤	・リスクアセスメント対象物質	シンナー中毒	塗装作業中にマスクを外したタイミングで目まいが起り立てなくなった。吐きけと目まいから、シンナー中毒だと病院に運んだ。
建築工事業	作業員	次亜塩素酸ナトリウム	・皮膚等障害化学物質	薬傷	工場内で以前使用していた工具類の片付け作業をしている再、背中に痛みを感じ、状況を確認した所、ヤケドしていた。その日、洗浄剤で洗浄作業をしており、その薬液が背中に飛散したと考えられる。
上下水道工事業	配管工	水酸化ナトリウム	・リスクアセスメント対象物質 ・皮膚等障害化学物質	薬傷	住居浴室の配管つまり工事作業中、浴室で洗浄剤を使用しようとした所、誤って洗浄剤（薬品）を右足、両手指先にかけてヤケドをおった。
建築工事業	竣工美装工事	フッ化水素酸	・特化物特定第2類 ・リスクアセスメント対象物質	薬傷	外部足場上でフッ化水素酸希釈液をタイルに散布中、ゴム手袋が途中で破れてしまい、希釈液が爪の間から浸潤し爪が剥がれ、激痛と指先が黒く変色した。
建築工事業	電気通信工事	有機溶剤	・リスクアセスメント対象物質	記載なし	仕事終了後に月曜日の仕事の準備をしていた時、ペイントマーカーを振った際、マーカーから液体が飛び出し目に入った。
土木工事業	土木作業員	水酸化カルシウム	・リスクアセスメント対象物質 ・皮膚等障害化学物質	眼炎症	道路に穴を掘った場所で、モルタルが充填されて数分経過した状態の古い水道管へつながっているパイプの端部についているバルブ周りの掃除をしている時に、バルブを勝手に回して開いてしまい、水道管内に充填されていたモルタルが被災者の両目にかかった。

建築工事業	解体工	水酸化ナトリウム	・リスクアセスメント対象物質 ・皮膚等障害化学物質	薬傷、角膜化学熱傷	工場内のタンク撤去中、タンク廻りの配管が撤去の邪魔になると判断された。タンク廻りの配管は使用されていないと認識していたので、配管を外そうとボトルを緩めた際、配管内に流れる苛性ソーダが吹き出し全身に浴びてしまった。
建築工事業	築炉工	水酸化ナトリウム	・リスクアセスメント対象物質 ・皮膚等障害化学物質	右太腿潰瘍、左太腿紅斑	炉内下耐火材の塗り込み作業時に霧吹きで急結剤を使用していたところ、急結剤が着用していたヤッケに浸透して肌に触れ負傷した。
その他の建設業	記載なし	次亜塩素酸ナトリウム	・皮膚等障害化学物質	全身薬傷	補修工事中（フロア剥ぎ取り）段取り替えでアセチレンボンベを移動していた際、プレスに接触したと思われる。はずみで後ろ向きに転倒してしまい、樹脂製タンクのズル部に接触し、タンクとノズルの付根にき裂が入り、タンク内の薬液（次亜塩素酸ナトリウム）を被液した。
その他の建設業	左官工	水酸化カルシウム	・リスクアセスメント対象物質 ・皮膚等障害化学物質	角膜損傷	顧客宅の住宅の天井に漆喰を塗る作業をしていた。コテ板の上からコテで掬った漆喰がこぼれ、左目に入り痛んだため、病院を受診した。
土木工事業	普通作業員	ベンジルアルコール	・リスクアセスメント対象物質 ・皮膚等障害化学物質	ベンジルアルコール中毒	工事現場で8：30より足場上の隔離区間にて、前日施工を行っていた塗膜剥離剤のかき落とし作業を行っていた。15：30の休憩時から体調不良が見受けられたため、引き続き休憩を取ったが16：30頃、他の労働者が声を掛けたところ会話ができない状態であったため、病院へ搬送した。原因不明で別の病院へ救急搬送されECUで治療をうけ15日後に退院した。後日、医師の診断結果により使用剥離剤主成分のベンジルアルコール中毒が原因と特定された。
建築工事業	石綿工（セネガル）	ベンジルアルコール	・リスクアセスメント対象物質 ・皮膚等障害化学物質	有機溶剤による意識障害	現場の外部足場作業中、外壁の塗剤を剥がすための剥離剤を塗る作業をしていたところ換気の悪い場所で溶剤が揮発したものを吸いすぎてしまった。
建築工事業	石綿工	ジクロロメタン、メタノール	・特化物特別有機溶剤等 ・皮膚等障害化学物質	有機溶剤による意識障害	地下室への階段部分で、アスベスト除去作業中に、封じ込め状況で剥離剤（ハクリパワーTG300）を使用し、作業を行っていました。防護服（エージーガード）を着用し、二重手袋を付けて、半面マスク（7121R-03）を付け、行っておりましたが、有害物質が下へ溜まって行った状況下で次第に体調が悪化していき、意識を失い階段より転落してしまいました。見つけてくれた作業員により119番通報をしてもらい、救急車が来て搬送されました。ジクロロメタン80～90%、メタノール10～20% 防じんマスク使用、2名被災
その他の建設業	築炉技術職	酸化カルシウム（生石灰）	・リスクアセスメント対象物質 ・皮膚等障害化学物質	薬傷	石灰工場ロータリーキルン内で煉瓦の取り込み、受け渡し作業を行っていた。しゃがみこむ、中腰となる姿勢を繰り返す中で、作業服がめくれあがり、地肌の露出があった。その状態で、作業中の炉壁や設備への接触があり、汗と生石灰が反応して化学外傷（火傷）を引き起こした。生石灰取り扱いにおける新人教育や服装確認が不足していました。